

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大原簿記学校
設置者名	学校法人大原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務 専門課程	経理本科1年制学科 ビジネス専攻コース	夜・通信	90時間	80×1=80時間	
	経理本科2年制学科 OAビジネスコース	夜・通信	210時間	80×2=160時間	
	経理本科2年制学科 スポーツビジネスコース	夜・通信	270時間	80×2=160時間	
	経理本科2年制学科 経営ビジネスコース	夜・通信	180時間	80×2=160時間	
	経理本科2年制学科 経理ビジネスコース	夜・通信	240時間	80×2=160時間	
	経理本科2年制学科 医療コース	夜・通信	450時間	80×2=160時間	
	経理本科2年制学科 税理士・会計士コース	夜・通信	360時間	80×2=160時間	
	経理本科4年制学科 税理士・会計士コース	夜・通信	660時間	80×4=320時間	
	会計専攻 1年制学科	夜・通信	120時間	80×1=80時間	
	会計専攻 1年5か月制学科	夜・通信	210時間	80×17/12=113時間	

(備考)

入学者募集用のパンフレット、HP等には、コース内の専攻別内訳を以下のとおり記載・紹介している。

経理本科1年制学科ビジネス専攻コース

ビジネス専攻、国際コミュニケーション

経理本科2年制学科OAビジネスコース

オフィスビジネス

経理本科2年制学科スポーツビジネスコース

スポーツビジネス、リゾート&スポーツビジネス

経理本科2年制学科経営ビジネスコース

流通・マーケティング

経理本科2年制学科経理ビジネスコース

経理ビジネス

経理本科2年制学科医療コース

医療事務、病棟・小児クラーク、医療秘書、医療IT&電子カルテ、
医療・美容クリニック

経理本科2年制学科税理士・会計士コース

税理士、税理士チャレンジ、公認会計士、公認会計士チャレンジ

経理本科4年制学科税理士・会計士コース

税理士、税理士チャレンジ、公認会計士、公認会計士チャレンジ

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校法人大原学園HPにて公開している。

掲載URL：<https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 なし

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大原簿記学校
設置者名	学校法人大原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人大原学園HPにて公開している。

掲載URL：https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/officer_list.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	司法書士事務所 所長	2023.4.1～ 2027.3.31	法人運営における 法務的な検証、管 理
非常勤	Web デザイン・システム 開発・印刷関連企業 代表	2023.4.1～ 2027.3.31	学生募集、教材開発 への助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大原簿記学校
設置者名	学校法人 大原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>1. 作成について 授業計画書(シラバス)は毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容について検討を行い、学科・コースの担当教員が作成を行っている。なお、検討にあたっては、専門分野に関する企業、団体等との連携により設置している教育課程編成委員会の提言をも各授業科目の内容に反映させている。 授業計画書(シラバス)の作成、記載項目は学校全体で定めたガイドラインに沿って行っている。</p> <p>2. 公表の時期について 年間計画に基づき、教育課程編成委員会での意見収集、反映させたいうで、前年度中に作成を行い、新年度開始前までにHPを通じて公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	学校法人大原学園HPにて公開している。 掲載URL： https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則に規定する履修、学業成績、進級および卒業要件に基づき各学生の学修成果に対して厳格な評価を実施している。なお、学生に対しては学生便覧を用いて周知を図っている。

◆学則より抜粋◆

〈試験等〉

第19条 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内を行う効果測定、課題の提出等により評価する。

2. 本校において必要と認めた場合に限り、追試験または再試験を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対し行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。

〈学業成績〉

第20条 学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満とする。

2. 授業科目の成績は、前項の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準によりG P (Grade-Point) を与える。

〈単位の授与〉

第21条 各科目の成績で、秀、優、良、可を取得した学生には所定の単位を与える。

〈修了・卒業の認定〉

第23条 授業科目の成績評価に基づいて、卒業審査により課程修了の認定を行う。

2. 校長は、本校所定の課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。

(1) 経理本科1年制学科、会計専攻1年制学科 800時間 (30単位)

(2) 会計専攻1年5か月制学科 1,000時間 (45単位)

(3) 経理本科2年制学科 1,700時間 (62単位)

(4) 経理本科4年制学科は 3,400時間 (124単位)

〈進級〉

第24条 進級の認定は、各学科の各学年において定める授業時間の履修および単位の修得を行い、かつ出席状況等の学習姿勢も考慮の上、進級判定委員会にて審査を行う。

◆学生便覧より抜粋◆

1. 進級について

各課程・学科において、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の進級に必要な授業科目および単位数を修得したと認められた場合、進級できる。

2. 卒業について

各課程・学科の修業年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の卒業に必要な授業科目および単位数を修得し、卒業審査に合格した者について卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。

3. 学業成績について

学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって判定する。ただし、授業科目によっては、その他の方法で判定する場合がある。なお、学業成績は、学期または必要に応じて、授業の出席状況とともに保護者等に通知する。

4. 授業について

全ての授業科目において、出席・欠席・遅刻・早退を記録する。各課程・学科の授業科目や授業時間、授業科目の単位数は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学業の達成度を客観的に評価するための指標としてG P A (Grade Point Average)を採用し、本校の成績評価に使用している。本校ではG P Aを基準に成績の分布状況の把握に努めているほか、学生個人の就職や大学編入学への推薦等の際にも客観的指標としてG P Aを活用している。この客観的な成績評価指標についてはHPで公開するほか、学生便覧にも記載して周知を図っている。

◆学生便覧より抜粋◆

3. 学業成績について

学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって判定する。ただし、授業科目によっては、その他の方法で判定する場合がある。なお、学業成績は、学期または必要に応じて、授業の出席状況とともに保護者宛に通知する。

- (1) 学業成績の判定は、「秀・優・良・可・不可」の5種で判定し、「秀・優・良・可」を合格(認定)とし「不可」は不合格(不許可)とする。また、授業科目の成績は、前項の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準によりG P (Grade-Point)を与える。
- (2) 不合格の科目については、特別試験を行い、基準点に達した場合に合格とする。
- (3) 授業科目を履修し、各科目の成績を判定の上、「秀・優・良・可」を取得した学生には所定の単位を与える。
- (4) 学校が必要と認めた場合に限り、追試験または再試験などを実施する場合がある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対し行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。
- (5) 試験内容や判定基準は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

学校法人大原学園HPにて公開している。
掲載URL：<https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校では、学則に教育目的として「簿記ならびに税務に関する教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することを目的とする。」を掲げて教育を行っています。</p> <p>簿記、会計、ビジネスに関する専門的な知識、技能を養成するとともに、社会人として求められる基礎力、思考、言動についてもバランスよく身につけた人材を育成すること、また、社会全体、各産業界における課題を見つけ出し、自らもその一員としての自覚を持ち貢献できる人材を育成することを目的として教育カリキュラムを編成し、指導に当たっています。</p> <p>上記に基づき、ディプロマポリシーとして卒業時点で身につけている能力を以下のとおり定めHPに公開しています。</p> <p>(1) 社会で守るべき倫理や責任を理解している。</p> <p>(2) 各学科の教育課程に示す専門的な知識、技能を身につけている。</p> <p>(3) 教育課程に示す知識・技能を身につけるために自ら学ぶ姿勢を身につけている。</p> <p>(4) 他者と協力し物事を成し遂げる姿勢と、そのために必要な表現力を身につけている。また、卒業要件については、学則に規定するとともに、学生便覧において学生に周知している。</p> <p>◆学則より抜粋◆</p> <p>〈修了・卒業の認定〉</p> <p>第23条 授業科目の成績評価に基づいて、卒業審査により課程修了の認定を行う。</p> <p>2. 校長は、本校所定の課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。</p> <p>(1) 経理本科1年制学科、会計専攻1年制学科 800時間 (30単位)</p> <p>(2) 会計専攻1年5か月制学科 1,000時間 (45単位)</p> <p>(3) 経理本科2年制学科 1,700時間 (62単位)</p> <p>(4) 経理本科4年制学科は 3,400時間 (124単位)</p> <p>◆学生便覧より抜粋◆</p> <p>1. 卒業について</p> <p>各課程・学科の修業年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の卒業に必要な授業科目および単位数を修得し、卒業審査に合格した者について卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。</p> <p>(1) 卒業を認められる者のうち、文部科学大臣が認める所定の学科(1年制コースを除く)を修了した者は、「専門士」の称号を授与する。</p> <p>また、4年制の課程を修了した者は、「高度専門士」の称号を授与する。</p> <p>(2) それぞれの課程・学科に定められた授業科目および単位数などで一定の基準を満たしていない者は、追試などを受けなければ卒業できない。</p> <p>(3) 卒業に関する要件は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>学生に配布する「学生便覧」において公表している。 学校法人大原学園HPにて公開している。 掲載URL：https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大原簿記学校
設置者名	学校法人 大原学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページで公表 https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/financial-overview.pdf
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

■経理本科1年制学科 ビジネス専攻コース

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	経理本科1年制学科 ビジネス専攻コース	—	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	800 単位時間/単位	1,350 単位時間 /単位	450 単位時間 /単位	240 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,040 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		13人	13人	31人 の内数	人	39人 の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトでの連絡、個人面談、保護者等との連携等を実施している。

■経理本科1年制学科 ビジネス専攻コース

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100%)	11人 (68.7%)	5人 (31.3%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) リック㈱、㈱フェローズ、西武バス㈱、日本マクドナルド㈱			
(就職指導内容) 学内業界研究セミナーや就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明を実施、随時、個別面談を行っている。適性検査、就職模擬試験（筆記試験）と模擬面接を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) MOSスペシャリスト、電卓検定など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16人	0人	0%
(中途退学の主な理由) コース単位ではなく1年制学科全体での人数としている		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、ミニテストの成績等）をクラス担当ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。また、クラス担当等を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。		

■ 経理本科 2 年制学科 OA ビジネスコース

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	経理本科 2 年制学科 OA コース	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1,700 単位時間/単位	1,575 単位時間 /単位	915 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	30 単位時間 /単位	
			2,700 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
560 人		40 人	3 人	31 人 の内数	人	39 人 の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
(概要) 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトでの連絡、個人面談、保護者等との連携等を実施している。

■ 経理本科 2 年制学科 OA ビジネスコース

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
57 人 (100%)	7 人 (12.3%)	45 人 (78.9%)	5 人 (8.8%)
（主な就職、業界等） (株)博報堂プロダクツ、(株)システナ、千住金属工業(株)、(株)サカタのタネ、(株)新日本建物			
（就職指導内容） 学内業界研究セミナーや就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシート の書き方、説明を実施、随時、個別面談を行っている。適性検査、就職模擬試験（筆記 試験）と模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 簿記検定、秘書検定、MOS スペシャリスト、電卓検定など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
479 人	33 人	6.9%
（中途退学の主な理由） コース単位ではなく 2 年制学科全体での人数としている 進路変更（就職、進学）、経済的理由、病気治療、成績不良等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、ミニテストの成績等）をクラス担当 ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。 また、クラス担当等を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。		

■ 経理本科 2 年制学科 スポーツビジネスコース

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	経理本科 2 年制学科 スポーツビジネスコース	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1,700 単位時間/単位	1,265 単位時間 /単位	885 単位時間 /単位	690 単位時間 /単位	30 単位時間 /単位	
			2,870 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
560 人		3 人	0 人	31 人 の内数	人	39 人 の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
(概要) 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトでの連絡、個人面談、保護者等との連携等を実施している。

■ 経理本科2年制学科 スポーツビジネスコース

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	0人 (0.0%)	4人 (100.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） (株)エイブル、(株)トレジャーファクトリー、(株)THINK フィットネス、G-FACTORY(株)			
（就職指導内容） 学内業界研究セミナーや就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明を実施、随時、個別面談を行っている。適性検査、就職模擬試験（筆記試験）と模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 簿記検定、MOSスペシャリスト、色彩検定、リテールマーケティングなど			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
479人	33人	6.9%
（中途退学の主な理由） コース単位ではなく2年制学科全体での人数としている 進路変更（就職、進学）、経済的理由、病気治療、成績不良等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、ミニテストの成績等）をクラス担当ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。 また、クラス担当等を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。		

■ 経理本科 2 年制学科 経営ビジネスコース

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	経理本科 2 年制学科 経営ビジネスコース	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1,700 単位時間/単位	1,215 単位時間 /単位	825 単位時間 /単位	480 単位時間 /単位	30 単位時間 /単位	
			2,550 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
560 人 の内数	33 人 の内数	13 人	31 人 の内数	人	39 人 の内数		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
(概要) 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトでの連絡、個人面談、保護者等との連携等を実施している。

■ 経理本科 2 年制学科 経営ビジネスコース

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19 人 (100%)	2 人 (10.5%)	14 人 (73.7%)	3 人 (15.8%)
（主な就職、業界等） ㈱なとり、東京地下鉄㈱、㈱共立メンテナンス、㈱コロワイド			
（就職指導内容） 学内業界研究セミナーや就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシート の書き方、説明を実施、随時、個別面談を行っている。適性検査、就職模擬試験（筆記 試験）と模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 簿記検定、MOS スペシャリスト、色彩検定、リテールマーケティングなど			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
479 人	33 人	6.9%
（中途退学の主な理由） コース単位ではなく 2 年制学科全体での人数としている 進路変更（就職、進学）、経済的理由、病気治療、成績不良等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、ミニテストの成績等）をクラス担当 ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。 また、クラス担当等を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。		

■ 経理本科 2 年制学科 経理ビジネスコース

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	経理本科 2 年制学科 経理ビジネスコース	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1,700 単位時間/単位	1,695 単位時間 /単位	1,215 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	30 単位時間 /単位	
			3,120 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
560 人 の内数		86 人 の内数	10 人	31 人 の内数	人	39 人 の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
(概要) 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトでの連絡、個人面談、保護者等との連携等を実施している。

■ 経理本科 2年制学科 経理ビジネスコース

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20人 (100%)	5人 (25.0%)	14人 (70.0%)	1人 (5.0%)
（主な就職、業界等） 古川電気工業(株)、山崎製パン(株)、東日本高速道路(株)、(株)エイ・アイ・エス、セントラル硝子(株)			
（就職指導内容） 学内業界研究セミナーや就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明を実施、随時、個別面談を行っている。適性検査、就職模擬試験（筆記試験）と模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 簿記検定、ITパスポート、秘書検定、MOSスペシャリスト、電卓検定など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
479人	33人	6.9%
（中途退学の主な理由） コース単位ではなく1年制学科全体での人数としている 進路変更（就職、進学）、経済的理由、病気治療、成績不良等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、ミニテストの成績等）をクラス担当ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。 また、クラス担当等を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。		

■ 経理本科 2 年制学科 医療コース

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	経理本科 2 年制学科 医療コース	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1,700 単位時間/単位	1,410 単位時間 /単位	990 単位時間 /単位	540 単位時間 /単位	単位時間 /単位	
			2,880		単位時間/単位		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
560 人 の内数		58 人 の内数	0 人	31 人 の内数	人	39 人 の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の 4. を参照
学修支援等
(概要) 個別相談・指導等に対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトでの連絡、個人面談、保護者等との連携等を実施している。

■ 経理本科 2 年制学科 医療コース

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19 人 (100%)	0 人 (0.0%)	18 人 (94.7%)	1 人 (5.3%)
(主な就職、業界等) 慈恵大学、日本医科大学、慶應義塾大学病院、がん研究会、独立行政法人国立病院機構 関東信越グループ、聖路加国際病院など			
(就職指導内容) 学内業界研究セミナーや就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明を実施、随時、個別面談を行っている。適性検査、就職模擬試験（筆記試験）と模擬面接を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 診療報酬請求事務能力認定試験（医科）、医療請求事務検定 1 級、医療秘書実務検定 1 級など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
479 人	36 人	7.5%
(中途退学の主な理由) コース単位ではなく 2 年制学科全体での人数としている 進路変更（就職、進学）、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、ミニテストの成績等）をクラス担当ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。 また、クラス担当等を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。		

■ 経理本科 2 年制学科 税理士・会計士コース

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	経理本科 2 年制学科 税理士・会計士コース	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1,700 単位時間/単位	8,490 単位時間/単位	4,020 単位時間/単位	450 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			12,960		単位時間/単位		
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
560 人 の内数	215 人 の内数	7 人	31 人 の内数	0 人	39 人 の内数		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
(概要) 個別相談・指導等に対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトでの連絡、個人面談、保護者等との連携等を実施している。

■ 経理本科 2 年制学科 税理士・会計士コース

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
70 人 (100%)	28 人 (40.0%)	25 人 (35.7%)	17 人 (24.3%)
(主な就職、業界等) PwC あらた有限責任監査法人、史彩監査法人、(株)ワールドインテック ファクトリー事業部、EY 税理士法人、太陽グラントソントン税理士法人、東京共同会計事務所など			
(就職指導内容) 学内業界研究セミナーや就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明を実施、随時、個別面談を行っている。適性検査、就職模擬試験（筆記試験）と模擬面接を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 公認会計士、日商簿記 1 級、日商簿記 2 級、全経簿記上級、簿記論、財務諸表論など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
479 人	33 人	6.9%
(中途退学の主な理由) コース単位ではなく 2 年制学科全体での人数としている 進路変更（就職、進学）、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、ミニテストの成績等）をクラス担当ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。 また、クラス担当等を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。		

■ 経理本科 4 年制学科 税理士・会計士コース

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	経理本科 4 年制学科 税理士・会計士コース	—	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼間	3,400 単位時間/単位	14,530 単位時間 /単位	8,560 単位時間 /単位	580 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			23,670 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		129 人	3 人	31 人 の内数	0 人	39 人 の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
(概要) 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトでの連絡、個人面談、保護者等との連携等を実施している。

■ 経理本科 4 年制学科 税理士・会計士コース

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
80 人 (100%)	59 人 (73.7%)	19 人 (23.8%)	2 人 (2.5%)
(主な就職、業界等) HLB Meisei 有限責任監査法人、日本電産(株)、(株)ジーフット、税理士法人 T O T A L、L e a f 税理士法人等			
(就職指導内容) 学内業界研究セミナーや就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの 書き方、説明を実施、随時、個別面談を行っている。適性検査、就職模擬試験（筆記 試験）と模擬面接を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 公認会計士、税理士、日商簿記 1 級、日商簿記 2 級、全経簿記上級、簿記論、財務諸 表論、消費税法、相続税法など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
137 人	12 人	8.8%
(中途退学の主な理由) コース単位ではなく 4 年制学科全体での人数としている 進路変更（就職、進学）、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、ミニテストの成績等）をクラス担当 ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。 また、クラス担当等を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。		

■会計専攻 1年制学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	会計専攻 1年制学科	—	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	800 単位時間/単位	2,860 単位時間 /単位	1,820 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	
			4,680 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		49人	0人	31人 の内数	0人	39人 の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトでの連絡、個人面談、保護者等との連携等を実施している。

■会計専攻 1年制学科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
39人 (100%)	31人 (79.5%)	1人 (2.6%)	7人 (17.9%)
(主な就職、業界等) 税理士法人青山パートナーズ			
(就職指導内容) 学内業界研究セミナーや就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明を実施、随時、個別面談を行っている。適性検査、就職模擬試験（筆記試験）と模擬面接を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 公認会計士、簿記論、財務諸表論、消費税法、法人税法、相続税法など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42人	7人	16.7%
(中途退学の主な理由) コース単位ではなく1年制学科全体での人数としている 進路変更（就職、進学）、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、ミニテストの成績等）をクラス担当ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。 また、クラス担当等を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。		

■会計専攻 1年5か月制学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	会計専攻 1年5か月制学科	-	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1.5 年	昼間	1,000 単位時間/単位	4,790 単位時間 /単位	3,310 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	
			8,100 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		47人	0人	31人 の内数	0人	39人 の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、ポータルサイトでの連絡、個人面談、保護者等との連携等を実施している。

■会計専攻 1年5か月制学科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	17人 (89.5%)	0人 (0.0%)	2人 (10.5%)
(主な就職、業界等) —			
(就職指導内容) 学内業界研究セミナーや就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明を実施、随時、個別面談を行っている。適性検査、就職模擬試験（筆記試験）と模擬面接を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 公認会計士、簿記論、財務諸表論、消費税法、法人税法、相続税法、国税徴収法など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
48人	11人	22.9%
(中途退学の主な理由) コース単位ではなく1年5か月制学科全体での人数としている 進路変更（就職、進学）、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、ミニテストの成績等）をクラス担当ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。 また、クラス担当等を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
経理本科 1 年制学科 ビジネス専攻	200,000 円	680,000 円	400,000 円	その他： 教材費、維持費、 実習費
経理本科 2 年制学科 OAビジネスコース	200,000 円	680,000 円	400,000 円	
経理本科 2 年制学科 スポーツビジネスコース	200,000 円	680,000 円	400,000 円	
経理本科 2 年制学科 経営ビジネスコース	200,000 円	680,000 円	400,000 円	
経理本科 2 年制学科 経理ビジネスコース	200,000 円	680,000 円	400,000 円	
経理本科 2 年制学科 医療コース	200,000 円	680,000 円	290,000 円	
経理本科 2 年制学科 税理士・会計士コース	200,000 円	680,000 円	340,000 円	
経理本科 4 年制学科 税理士・会計士コース	200,000 円	680,000 円	340,000 円	
会計専攻 1 年制学科	200,000 円	680,000 円	340,000 円	
会計専攻 1 年5か月制学科	200,000 円	680,000 円	340,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 毎年、自己評価の結果については報告書をHPに公開している。 掲載URL： https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営の改革方針や自己評価等の質を高め、次への改善に繋げる ・学校運営や教育活動への学校関係者の協力や参画を得て、地域に開かれた信頼された学校作りを進める ・校長は学校関係者評価の結果をもとに適切な支援や条件整備等の改善措置を講ずる 		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
太陽有限責任監査法人 東京事務所 副所長 シニアパートナー	2023年4月1日 ～2025年3月31日	企業委員
東京都私立中学高等学校 東京私学教育研究所 所長	2023年4月1日 ～2025年3月31日	業界団体
西神田町会 会長	2023年4月1日 ～2025年3月31日	地域住民
税理士事務所 税理士	2023年4月1日 ～2025年3月31日	卒業生委員
医療法人 五星会 菊名記念病院 総務課 係長	2023年4月1日 ～2025年3月31日	卒業生委員
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 毎年、学校関係者評価の結果については報告書をHPに公開している。 掲載URL： https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 大原簿記学校の学校情報公開 掲載URL： https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「—」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H113310100018
学校名	大原簿記学校
設置者名	学校法人 大原学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		63人	55人	67人
内 訳	第Ⅰ区分	45人	38人	
	第Ⅱ区分	—	11人	
	第Ⅲ区分	—	—	
家計急変による支援対象者（年間）				—
合計（年間）				68人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	—	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	—	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	—
3月以上の停学	0人
年間計	—
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	—
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。